



清見町河渡橋 工事現場

ンターの特殊浴槽はどれくらいの期間使用されたのか。
答約11年使用している。
問コミュニケーション助成による購入との説明であるが、リースという考えはなかったのか。
答リースという考えはなかった。
問河渡橋の下部工は県への委託とされているが、どういった経緯であったのか。
答今回は大きな災害だったことから、県から市へ援助の申し出があり、河渡橋の下部工

を県が実施する川上川の護岸工事と合わせて行うこととなった。
問災害復旧工事は繰越が前提であるが、工事は梅雨時まで完了できるのか。
答災害復旧工事は査定が終了し、発注は今年度1月、2月中に行う予定である。梅雨時までの完了は困難である。
問ふるさと納税について、高山から他都市への寄付は把握されているのか。
答把握していない。
問把握することは可能か。
答把握することは不可能であると考えている。
問障がい児通所支援給付費が増額されているが、その内容は。
答今年度、事業所が新規で2件開設されたこと、療育を受けている児童等が増加したことにより、事業費が増加した。給付費を市が扶助していることから、あわせて3,600万円の補正となった。

問障がい児者のサービスについては、ニーズに対して受け皿が少ないことが課題となっている。市は現状をどのように把握しているのか。
答市内における18歳未満で、身障手帳保持者が70名、療育手帳保持者が206名である。そのほかにも支援の必要な児童がいることは把握している。
問通所介護は、県の許可があれば事業が実施できることから、自治体の調整が難しい事業だと考えるが、どのような対応がされたのか。
答今回は年度途中で開設されるとの報告があったことから、その後、相談等の対応を行った。
問個別支援計画の策定が義務付けられているが、現状は。
答児童福祉関連では現在6割くらい完了している。
問個人負担の1割分を



国府町広瀬踏切

市が負担しているが、今後の考えは。
答地方交付税の減額などの課題があり、その都度考える。議会にも相談する。
問JRへの債務負担行為が増額されているが、その内容は。
答平成26年度の当初予算では、JRからの概算額の提示に基づいて予算を計上していたが、今年度に入り、JR東海で調査を実施したところ、追加工事が必要となったことから増額となった。



まちの風景

1月5日

高山支団
消防出初式